

# 分校だより

9月号

令和元年9月2日発行  
埼玉県立けやき特別支援学校  
伊奈分校  
048-723-2201

## プログラミング教育に取り組み始めました

校長 三原和弘

いよいよ2学期がはじまります。いちばん長い学期で、文化祭などの大きな行事もあります。児童生徒の皆さんにとって、学びのある楽しい学期にしていきたいと思います。

さて、今回は新しい取り組みを紹介します。来年度から、小学部では学習指導要領の改訂に伴いプログラミング教育が必須となっています。本校で今年度から取り組み始めていることを二つ紹介します。

一つ目は、「キューベット」という教材です。箱形のロボットを動かす教材です。プログラムは、タブレットではなく、専用の道具を使います。直進・左折・右折などの意味のあるブロックによって、プログラムを作っていきます。「キューベットをスタートからゴールまでたどり着けるように考えて、プログラムしていく」というような内容が基本となります。目的地にたどり着くためにはいろいろなプログラムが作れます。正解は一つではありません。しかし、論理的に間違っているとたどり着けません。こんな活動を、一人でやることもできますし、グループで話し合いながら進めることもできます。今後、子どもたちの主体的で論理的な思考ができるように授業を作っていくしたいと思います。



二つ目は、「プロロ」というミニカーのようなロボット教材です。こちらは、パソコン等でプログラムを作ります。アプリでプログラムを作り、パソコンとロボットをつないで命令を送ります。プロロはパソコンから送られたプログラムを受け取り命令どおりに動きます。プロロにはセンサーがついていて、床の色を見分けることができます。例えば、「白い線を見つけたら、90度右に曲がる。そのあとは直進する。」という命令を出すことができます。そこで、土俵を使って、2台のプロロを対戦させるロボット相撲を実施することができます。相撲となると、相手の動きも想定してプログラムを作っていかなければなりません。対戦ができると意欲がわいてくるのではないのでしょうか。課題を見つけて、論理的に解決できる力を養うことができると思います。

そして、なんとこの相撲の対戦が「ロボットプログラミング選手権2019（病弱教育部門）～病室から世界に挑め、未来を創る子ども達～」として、病弱特別支援学校の全国大会が実施されることになっています。大会の開催地に行くことはできませんが、プログラムを大会校に送り、対戦を行います。その、全国大会の様子は、ウェブ会議システムなどで中継する予定です。地区予選もあり、必ず全国大会出場とはいかないのですが、全国大会に出場し優勝できるように頑張っていきたいと思います。



## 行事がたくさん、2学期！！

9/27（金）芸術鑑賞会      10/25（金）社会体験学習      11/22（金）文化祭

※「芸術鑑賞会」と「文化祭」は、保護者の参観が可能な行事です。（詳細は、後日お知らせします。）

※「中学部の合同演奏会」      11月に「けやき特別支援学校本校（新都心）」と「伊奈分校」の合同演奏会を計画しています。ウェブ会議システムを使って、それぞれが発表したり、一緒に合奏したりして、入院しながらもがんばっている同世代の友だちとの交流を深め、退院に向けて意欲的な気持ちが育つよう学習を進めていきたいと考えています。

## 9月の予定

2日（月）始業式 11:55 下校  
19日（木）月曜日課  
27日（金）芸術鑑賞会（保護者参観可能）

